

広報

心じ

〔毎月5日・25日発行〕

55.3.25

№.292

発行・富士市役所

富士市永田61-1

電話〈0545〉51-0123

編集・

企画調整部広報広聴課



第7回田子の浦マラソン

柏原海岸で1,370人が参加

80年代の都市づくりにむけて

「物」から「心」の豊かさへ



【施政方針を説明する渡辺市長】

市議会3月定例会は、3月5日招集されました。主な議案は新年度各会計予算など、53議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

また、昭和55年度の施政方針は、3月6日の本会議において、渡辺市長から「80年代における都市づくりの基本的な考え方」や新年度の市政運営のとりくみ、また新総合計画を中心とした重点施策のあらましがお示されました。

この中で特に、21世紀は「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へ変わり、行政の進むべき方向としては「生活の質」を重視し、調和のとれた社会をつくりあげるため「生産と生活が調和する産業文化都市」の実現に向けて積極的に諸事業を進めていくことを強調しました。

ことしの市政運営

市民本位の市政に最善の努力を

市長は施政方針の中で、新しい時代に対応する多様な政策を展開するため三つの市政運営のポイントを定めました。その第1は「行政への文化の香りづけとその推進」、第2は

「自主と連帯によるふれあいのある地域社会づくり」、第3は「行政情報の積極的提供と行政情報システムの確立をはかる」という3本の柱でこれらの内容にふれると

ことしの新しいしごと

校舎の増改築などへ

24億円を投資

新年度の重点事業は、すでに2月25日号の広報ふじでお知らせしましたので、新しいしごとの主なものを中心にここで紹介いたします。

(カッコの数字は事業費です)

- ・循環器検診(成人病検診) (343万円)
- ・富士見台消防分署新築 (8,949万円)
- ・消防団第18分団詰所新築 (3,017万円)
- ・公共土木施設等災害復旧
 - 道路関係 (360万円)
 - 河川関係 (1億7,760万円)
 - 農業関係 (8,682万円)
- ・(仮称)東部下水処理区認可申請委託 (1,800万円)

行政への文化の香りづけと

その推進

市民の真の幸せとは、市民ひとりひとりの生きがいを如何に大切にしていけるかということです。こうした観点から最近「文化行政」が新しい行政課題としてクローズアップされ、「文化」を広く市民の生活に根ざした豊かな人間らしい生活の営みとしてとらえ、行政の各分野にわたって総合的に取りこんでいます。幸にして昨年9月市民文化懇談会が発足し委員各位からいろいろな討議をいただいています。これからは生きがいに満ちた市民生活が営まれるような風土づくりをすすめてまいります。



◀ 建設中の郷土博物館

自主と連帯によるふれあいのある地域社会づくり

これまで「まちづくりは、地域や職場のなかで市民の積極的な参加を得ることによってその歩みは一層早まる」との考えから、広報、広聴機能を通じての条件づくりを行ってきました。市民参加は、単に行政を批判したり、注文するだけの観客としてではなく、市民が主役となつてす

められる参加を重視しなければなりません。現在、地域社会に芽ばえつつあるボランティア活動やコミュニティづくりは、まさに市民の自発的参加によるものです。新年度は、こうした地域社会を軸として、さらに自然やみどりを守る運動、消費者運動としての省資源、省エネルギー運動を積極的に助長するとともに、地域づくりの課題である「自主と連帯」への市民の役割分担と行政の守備範囲について、引続き市民合意形成の場を確保してまいります。

が積極的にすすめます。いままで市政の情報提供は、広報紙等を通じて行ってきましたが、さらに市民が考え選択することのできる素材を提供できるよう努力するとともに、行政資料や研究成果を一ヵ所に集中する「行政資料室」を設け、職員の利用に供し、将来は、市民にも広く公開できるように体制をつくりま

す。また、行政の質の向上と事務の効率化をはかるためコンピューターシステムは欠くことのできない手段として重要な役割を果しています。

まず第一段階として、住民情報を的確に把握し、タイムリーな活用と市民の利便のために、住民情報管理システムの開発をすすめながら、行政の近代的経営に取りこんでいきます。

行政情報の積極的提供と行政情報システムの確立をはかる

新総合計画が真に市民のための計画となるためには、市民に計画推進に必要な参加の条件づくりを行政側



ことしの新しいしごと



- ・ 樹林、樹木保護指定事業 (250万円) (4億974万円)
- ・ 第3保育園建設事業 (2億785万円)
- ・ 母子家庭等の医療助成 (2,247万円)
- ・ 障害児保育促進事業 (601万円)
- ・ 養護老人ホーム用地取得、造成事業 (2億2,715万円)
- ・ 障害者福祉都市推進事業 (3,350万円)
- ・ 高齢者事業団発足 (623万円)
- ・ 大淵第1小学校校舎改築 (450万円)
- ・ 吉原小学校体育館改築 (1億594万円)
- ・ 鷹岡小学校体育館改築 (1億5,394万円)
- ・ 東小学校、元吉原小学校屋外便所設置 (700万円)
- ・ 伝法小学校プール改修 (1,000万円)
- ・ 吉永第1小学校改築設計委託

55年度当初予算成立

総額で457億9,200万円 きびしい財政環境

昭和55年度の地方財政は、自治体の投資的経費の支出が圧縮する一方歳入面では地方債の発行を前年度より更に10%近く減額するなど、市の台所はますます苦しくなっています。

このように市税の伸びは、鈍化を示し、自主財源の確保は依然として

きびしく、市税収入は総額で172億568万円、54年度当初予算にくらべ11.8%の増加にとどまっています。

そこで市は、55年度、市民負担のバランスに応じた財源確保をはかるため、保育園の保育料、戸籍などの諸証明手数料などの料金改正を行い

ました。

こうした中で55年度予算は、新総合計画にかかげる施策をもとに、住民要望の実現をはかるため財源の重点配分を行い、つとめて経常経費の節減に最大限の努力と工夫をはらいながら抑制型の予算を編成しました。

昭和55年度当初予算のあらまし

一般会計予算額 313億3,500万円

〔歳入内訳〕

- ・市税 172億568万円 (54.9%)
- ・地方譲与税 3億6,700万円 (1.2%)
- ・娯楽施設利用税交付金 3,700万円 (0.1%)
- ・自動車取得税交付金 2億7,000万円 (0.9%)
- ・地方交付税 7,000万円 (0.2%)
- ・交通安全対策特別交付金 4,000万円 (0.1%)
- ・分担金及び負担金 10億7,792万7千円(3.4%)
- ・使用料及び手数料 5億2,180万2千円(1.7%)
- ・国庫支出金 42億4,461万2千円(13.6%)
- ・県支出金 10億461万4千円(3.2%)
- ・財産収入 8,453万8千円(0.3%)
- ・寄付金 20万3千円(-)
- ・繰入金 840万円 (-)

- ・繰越金 12億円 (3.8%)
- ・諸収入 28億1,992万1千円(9.0%)
- ・市債 23億8,330万3千円(7.6%)

〔歳出内訳〕

- ・議会費 3億5,931万2千円(1.1%)
- ・総務費 28億5,180万円 (9.1%)
- ・民生費 49億9,490万円 (15.9%)
- ・衛生費 38億6,667万2千円(12.3%)
- ・労働費 1億5,516万4千円(0.5%)
- ・農林水産業費 9億64万3千円(2.9%)
- ・商工費 15億9,667万4千円(5.1%)
- ・土木費 70億6,652万4千円(22.6%)
- ・消防費 12億7,320万2千円(4.1%)
- ・教育費 56億7,468万7千円(18.1%)
- ・災害復旧費 2億7,461万7千円(0.9%)
- ・公債費 22億6,925万7千円(7.2%)
- ・諸支出金 50万円 (-)
- ・予備費 5,104万8千円(0.2%)

特別会計予算額 85億2,885万3千円

- ・国民健康保険事業会計 38億3,300万円
- ・下水道事業会計 25億1,200万円
- ・青島津田土地区画整理事業清算金会計 2,300万円
- ・依田原新田土地区画整理事業会計 7億1,850万円
- ・富士中部土地区画整理事業会計 6,790万円
- ・地方卸売市場事業会計 5億6,594万円
- ・駐車場事業会計 6,380万円
- ・公共用地先行取得事業会計 6億2,640万円
- ・内山会計ほか8会計 1億3,901万3千円
- 公営企業会計予算額 58億7,859万5千円
- ・水道事業会計
 - 収益的支出 16億755万8千円
 - 資本的支出 7億9,826万8千円
- ・病院事業会計
 - 収益的支出 32億8,136万円
 - 資本的支出 1億9,140万9千円

ことしの新しいしごと

・吉原第2中学校校舎改築 (2億3,814万円)



・富士南中学校校舎増築 (2億2,534万円)

・(仮称)吉原北中学校新設 (2億1,904万円)

・同校体育館新築 (1億1,514万円)

・岩松中学校西グランド歩道橋設置 (2,000万円)

・学校施設用地取得事業(仮称・岩松第2小、吉永第1小、岩松中) (4億7,940万円)



国民健康保険税が一部改正

平均1万円の減となります

国民健康保険税条例の一部改正が3月市議会定例会に提案され、原案どおり採決したので、この4月1日から実施されます。

今回の主な改正点は、国保税の課税限度額が「19万円」から「22万円」に上げられたのをはじめ、所得割額の「100分の340」が「100分の200」に、資産割額の「100分の85」が「100分の50」に、また、平等割額の「8,880円」が「7,560円」にそれぞれ引下げられました。

この国民健康保険税は、毎年4月1日にきまり、保険税納税通知書で保険税の額、算出方法や納税方法な

どを通知しています。

参考までに、昭和55年度の保険税は均等割額(4,920円に被保険者数をかけた金額)と所得割額(市民税所得割額に2をかけた金額)及び資産割額(固定資産税土地家屋分の0.5)さらに世帯平等割額(一世帯7,560円)との合計額で、一世帯の課税限度額は22万円です。

これを標準世帯(3人)で54年度とくらべてみると保険税の税負担額は54年度は8万629円だったのが、55年度は、この軽減措置で7万549円となり差引き平均1万円の減となる見込みです。

母子家庭等へ医療費を助成

18歳未満の児童を扶養している母子と父子家庭等に医療費の助成金の一部支給されることになりました。この支給条例も、3月市議会定例会で正式にきまったもので、4月1日から実施されます。

助成の対象になる人は、次のとおりです。

◇助成対象者

- ・母子家庭の母及び18歳未満の児童
- ・父子家庭の父及び18歳未満の児童
- ・両親のいない18歳未満の児童

◇所得制限

助成対象者又は助成対象者と生活を同じくする扶養義務者の前々年

の所得に所得税が課せられていない世帯

医療費の助成を受けようとする人は、①医療保険証 ②申請者名義の預金口座番号 ③前々年、前年分の所得に対する課税状況を証する書類(源泉徴収票など) ④印かんを持参して市庁舎2階西側の社会課医療係(☎51-0123 内線229)へ定められた「母子家庭等医療費助成金支給者証交付申請書」を提出し、受給資格を受けてください。

なお、交付申請は4月1日から受け付けします。

期待しています



中村珪子さん
(43歳・富士見台七)

現在、子どもは吉原第三中学校に通学しています。

この富士見台に中学校ができることを聞き、こんなにうれしいことはありません。

近くに学校ができれば、通学時間の短縮や思う存分に部活ができます。

完成が待ちどおしいですね。



河野勝義さん
(50歳・富士本町二)

新しく文化振興課ができますが、私は大きな期待を寄せています。市民文化の向上は行政だけでなく、自分たちが自発的に行わなければ。

文化施設についても、もっと利用しやすくしてほしいですね

今後、文化振興課が文化行政の中心となっていくことを期待しています。

ことしの新しいしごと

- ・社会科副読本作成 (460万円)
- ・小学校教科書改訂に伴う教師指導書 (1,570万円)
- ・歴史民俗資料館設置 (1,770万円)
- ・(仮称)西部公民館建設 (1億1,108万円)
- ・(仮称)西図書館開設 (4,900万円)
- ・学校運動場夜間照明施設(富士中、仮称吉原北中、神戸小) (1,510万円)

- ・東球場駐車場用地取得事業 (3,150万円)
- ・特産営農団地育成事業 (2,166万円)
- ・農用地高度利用促進事業 (132万円)
- ・林業構造改善事業 (3,794万円)
- ・漁業用施設設置事業補助 (5,097万円)
- ・漁礁施設設置事業補助 (1,275万円)
- ・国勢調査費 (3,515万円)
- ・参議院議員選挙費 (2,538万円)



4月1日から

部・課の名称が一部変わります

市民福祉と行政サービスの向上へ

「生産と生活が調和する産業文化都市」づくりに向け、新しい行政需要に応え、市民の福祉増進、行政サービスの向上をめざし、4月1日から行政機構の一部を変更します。

その主な内容は次のとおりです。

〔庁舎二階市民課窓口〕



部の名称が変わったもの

〔行政管理部〕… (8.7階)

旧企画調整部に総務課を加え、行政管理部としました。

〔財政部〕… (7.3階)

旧総務部から総務課を分離し、財政部としました。

〔商工農林部〕… (5階)

旧経済部と公設地方卸売市場を統合し、商工農林部としました。

課等の名称が変わったもの

〔健康課〕… (4階)

旧保健衛生課の名称変更ですが、

蚊、ハエの駆除等防疫業務は、環境衛生課に移します。

〔環境衛生課〕… (10階)

旧清掃管理課の名称変更ですが、旧保健衛生課で行っていた防疫業務などは、ここで行います。

〔商業労政課〕… (5階)

旧商工課から消費者と工業部門を分離し、商業観光、労政部門をもって商業労政課としました。

〔スポーツ振興課〕… (7階)

旧体育保健課の名称変更ですが、児童、生徒の保健業務は、学校教育課に移しました。

新設した課

〔市民生活課〕… (2階)

市民相談、消費者行政などの事務を行います。

〔工業課〕… (5階)

工業の振興、育成などの事務を行います。

〔文化振興課〕… (7階)

市民文化を推進するための事務を行います。

〔病院建設事務局〕

市立中央病院の拡充整備事業を推進するための事務を行います。



近くフル運転へ

製紙スラッジ共同焼却場が完成

待望久しかった製紙スラッジ (P S) を処理する共同焼却場が、市内桑崎地先の1万4,000平方メートルの敷地に完成し、このほど炉の火入れが行われ、近くフル運転に入ります。

この焼却場の建設にあたっては、市内39の製紙工場で作られている「富士製紙協同組合」が、市を立会人として地元関係者と細目にわたって公害防止協定を結び、総事業費約15億円のお金をかけて、すばらしい共同焼却場が完成したものです。

この焼却施設は、超旋回流型流動床焼却炉で、ロータリードライヤーつきという新鋭なもので、フル操業に入れば日量455トン(水分込み)のP Sが化学的に処理されます。

特に公害防止については、法にもとづく排出基準が固く守られているのをはじめ、環境の保全是もちろんのこと水質汚濁、大気汚染、臭気、ばいじん、PCB対策などすべての面で市の行政指導を受けながらベストをつくしています。



資産評価証明などの 手数料が100円に

税、住民票などに関係するいろいろな証明手数料は、いままで1件について70円でしたが、4月1日から1件について100円にかかります。

種 別	単 位	金 額
身分に関する証明	1件につき	100円
住民基本台帳に関する証明	〃	100円
印鑑に関する証明	〃	100円
外国人登録に関する証明	〃	100円
租税、公課に関する証明	〃	100円
資産に関する証明	〃	100円
営業に関する証明	〃	100円
在学、修学に関する証明	〃	100円
公簿、公文書、図面に関する証明	〃	100円
公簿、公文書の謄本又は抄本	1枚につき	100円
公簿、公文書の閲覧	1回につき	100円
地籍図の複写	1枚につき	100円
その他の証明	1件につき	100円

保育料などがかわります

市立保育園の保育料及び市立吉原商業高等学校の授業料が、4月1日から次のとおり改正されます。

- ・保育園の保育料…平均月額7,063円を8,187円に。
- ・市立吉原商業高等学校授業料…
年額57,600円を67,200円に。(月額800円引上げ
新入生から)

サファリパーク開園に伴う 交通問題について

〔こえ〕 裾野市のライオンサファリパークの開園により、富士市の裾野、御殿場两市へ通ずる道路は混雑し、市民生活に大きな交通障害をもたらそうとしています。そこで御殿場市ではすでにこの解消のため、企業負担による迂回路の新設に成功したようです。当市も企業に強く申入れをするなど交通対策を十分考えて下さい。
(一市民)

〔こたえ〕 ご指摘の幹線道路、県道勢子辻吉原線は交通量が増加し、早急に、この道路の拡巾整備が必要とされておりました。サファリパークが開園すれば富士インターから同県道の交通混雑が一層深まるものとみられ、数年前からこの県道の全面的な拡巾改修事業を県当局に強く働きかけをしてまいりました。このため順次改修事業がすすめられております。

当市としては、市内の交通対策の立場から企業者に対し、来園者のルートについて、極力、富士市ルートを利用しないよう、企業者自身が来園者に周知されるよう再三申し入れをしております。

(市企画課)

グループ訪問

18

5月の公演をめざして

劇団 不二芸

「思いっきり練習の出来る、たまり場がほしいです。」リーダーの橋田雄二さん(31歳)は語る。

天間にある八幡宮を借りての練習場。照明具や数々の芝居道具に囲まれて、研究生の若々しい発声練習の音がはずむ。

アマチュア劇団「不二芸」は、昭和48年3月に旗上げをした。以来オリジナル物を中心に公演を続けている。団員は18歳から40歳までの男女17人、平均年齢は25歳と若い。職業も会社員、工員、保母、家事手伝いと様々。現在は、5月



の公演をめざして週2回の練習と、研究生の基本練習を週1回行っており、地元を素材にした創作劇にも取り組もうとしている。

グループの雰囲気はとにかく明るく健康的。
事務局 天間1793-2 ☎71-5943 (佐野方)

見ばえが資源を食べる

厚化粧の包装容器



「石油不足」、「灯油の値上げ」問題が毎日、テレビ・新聞で報道され、みなさんの家庭では、今「省資源・省エネルギー」が話題になっていることと思います。

こうした中で、デパートやスーパーなどで使われている食料品包装用のプラスチック皿（トレイ）を追放しよう……と数年前から富士市をはじめ、富士宮市、沼津市など県内27の消費者団体が、この追放運動を積極的にすすめています。

これらの消費者団体が結成された「県プラスチックトレイ追放運動協議会」は、今後、大々的にこのトレイ全廃の猛運動をつづけていくことにしています。



トレイ追放運動

プラスチックトレイは、主に肉・魚・野菜などのフィルム包装の受け皿として、デパート、スーパーなどの食料品店で多く使われています。

このプラスチックトレイは、石油製品であり、包装代やゴミ処理のための費用がかかるなどの理由で、数年前から県内の消費者団体が追放を呼びかけてきました。

そして、ようやく全県運動としてプラスチックトレイ追放がクローズ

アップされてきました。

- この運動の基本的な姿勢として、
- ・スーパーのトレイ包装や二重包装をやめさせる。
 - ・スーパーとの話し合いの上で、どうしてもトレイ包装のやめられないものは、紙トレイなど害のない材質にかえてもらう。
 - ・全県下に運動を広めて、できれば兵庫県のように条例をつくってもらう。
- の3点をあげ、消費者、スーパー、市の三者が一つになって力をあわせてトレイ全廃運動を積極的に行うことになっています。

世界で第2位

プラスチックゴミ

中でもプラスチックゴミはアメリカに次いで世界第2位の生産量を誇るわが国では、使い捨て容器として使用も多く、埋立てゴミの80%を占めています。

また、燃せば有害ガスを発生するものや高熱を発生してゴミ焼却炉を痛めるなどマイナス面が多く、埋立てに頼るしかない現状です。しかもプラスチックなどのため埋立てでも腐ることがなく処理困難物で、まったくヤっカイ物とされています。

石油は99.7%輸入

私たちは、毎日炊事、洗濯、あかりをつける、テレビを見る、ストーブで暖をとる……。どれをとってもすべて電力、石油、ガスというエネルギーなしでは、一日も過すことはできません。この電気の約7割は石油による火力発電によるもので、ガスも約半分は石油が原料です。

このように、わが国のエネルギーの74%は石油でまかなわれています。しかも、その石油の99.7%は外国から買っているのです。これから1980年代、そして21世紀に向けて私たちが文化的で豊かな生活を送っていく上で大切なことは、「ムダ使いよりも心づかい」の「省エネ」の精神です。

みなさんの家庭でも今年の実践目標の一つに「省エネルギー」を加えてください。そして毎日、使っている身近なエネルギーを節約しましょう。

スーパーバックには 生ゴミを入れない

現在、ゴミ全体の40%強が台所の生ゴミ、紙袋のころは、よく水を切って出さないと底が破れてしまうので注意しながら出したものです。

スーパーバックは、耐水性がある

ため、なにげなく水分たっぷりの生ゴミをそのままバックにつめて出してしまいがちです。

特にスイカの皮やトマト、トウモロコシのしんなど多量に出される夏場には、ゴミが燃えず、助燃剤として大量の石油（1kg60円位）が使われ、これだけでも年間ザット840万円の石油代がかかります。本格的な省エネルギー時代に何とも、もったない話です。

年間8,200万枚の山

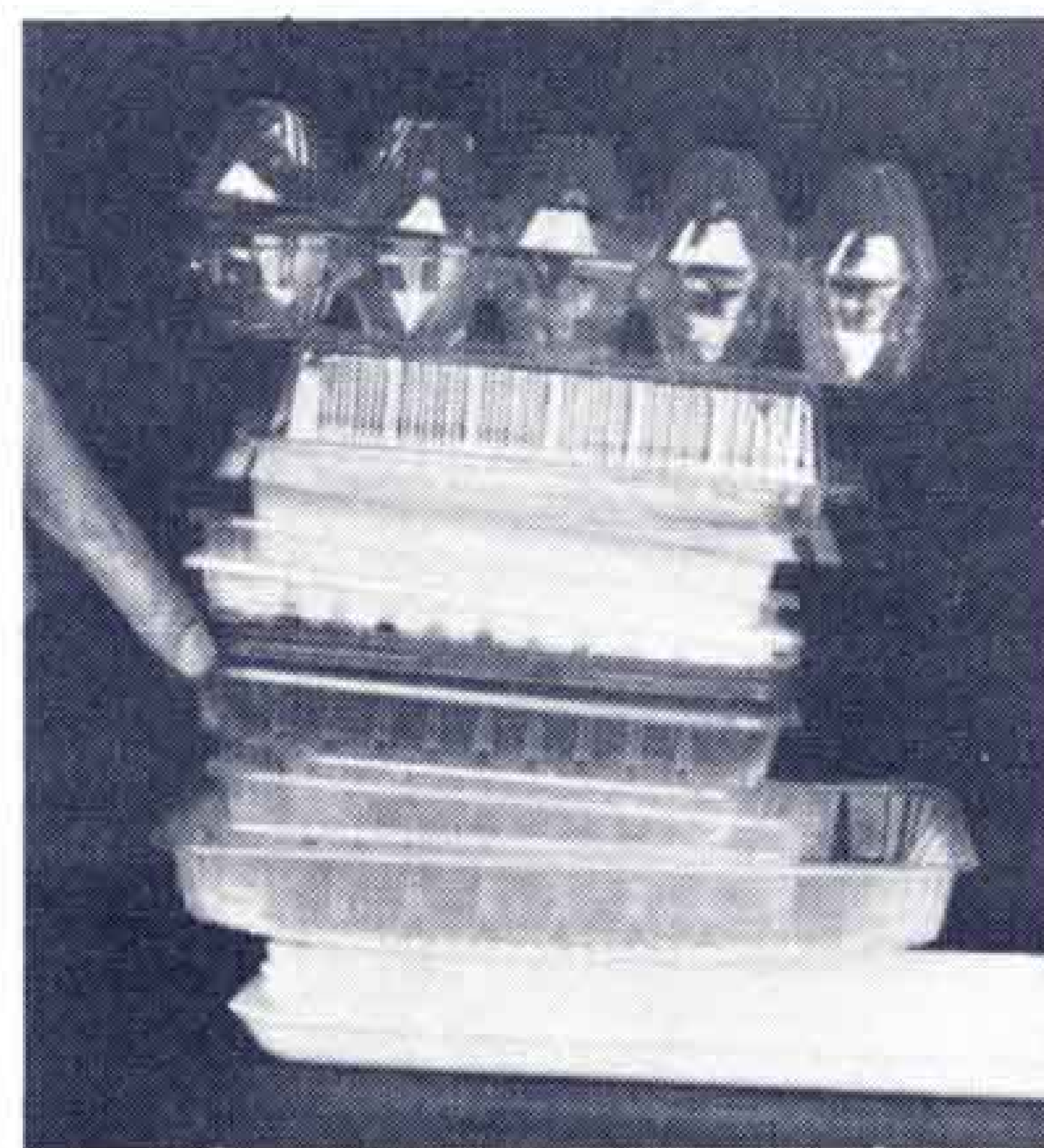
1世帯1日4枚平均で

このプラスチックトレイは、一日一家庭で4～5枚を捨てています。

仮に一家庭で4枚として1ヵ月で120枚、1年間では1,440枚、全世帯では、なんと8,208万枚にもものぼります。これをトレイの原価5円として計算してみると一家庭で年間7,200円を捨てている勘定になります。

また、市全体では世帯数が約5万7,000として一年間に約4億1,000万円というほう大なお金をただ灰にしているわけです。まったくもったない話です。

「でも、ただでもらえるから…」なんて平気で考えていたら、それは大まちがい、このツケは、すべて商品に上のせされ消費者にまわってくるのです。プラスチックトレイやスーパーバックなどは、省エネ節約の



【一週間でこんなにたまります】

ためにも、使わないようにしましょう。

プラスチックから 紙トレイへ

市内入山瀬の三起鉄工所などでは県製紙工業試験場と技術協力しながら紙トレイ（アラジン・パルプモールドトレイ）製造設備の開発をすすめています。

この紙トレイの特徴は

- ①プラスチックトレイよりも安い。
 - ②原料は故紙
 - ③使用後の回収、再生、又は焼却が容易である
 - ④自動包装機に耐えられる
 - ⑤中小企業でも楽に手に入る
- ことなどがあげられています。

お聞き します



——プラスチックトレイ追放運動を進めている、市消費者運動連絡会代表の石丸恵美子さん（市内広見本町）に聞いてみました。

現在、プラスチックトレイ追放運動を県内の消費者団体が進めています。この追放運動には、2つの大きなねらいがあります。

まず第一に、包装の適正化をはかること、第二に有害性の問題です。

私たち消費者としては、商品に対して unnecessary な包装をしてもらいたく

ないので。

また、トレイやビニール袋を処理するとき、有毒ガスや高熱を発生しますので、大変こまります。

消費者としても考え直さなければいけないことがあると思います。

たとえば、買い物にいく時に手ぶらでいかず買い物袋をもっていくように心がけることなど。

この追放運動は、消費者・行政・業者が一体となって考えていかなければ解決しない問題だと思います。



気象庁は、三月二十九日市内鶴無ヶ淵に体積ひずみ計を設置しました。この地震計は、東海沖地震に対応して岩盤のひずみをキャッチし、テレメーターでデータが気象庁に連続記録されるものです。

市内では、初めてのことであり、地震予知のための効果が期待され、六月からの観測が待ちのぞまれます。

市内初の地震計設置



日ごろの作品を展示即売

市立くすの木学園の創立10周年を記念して、作品展示即売会が3月9日から14日まで、市内のデパートで開かれました。

会場には、日ごろ園生たちが丹精こめて作った木工品、トイレットペーパー、ぬいぐるみ人形が展示、即売され人気をよんでいました。

市立元吉原小学校西校舎の竣工祝賀式が、三月八日行われました。新校舎は、鉄筋三階建てで約二億二千万円のお金がかかりました。

森口紀久子さん（六年）が児童を代表して「校舎をつくっていただき本当にありがとうございます」とお礼のことばをのべました。

元吉原小西校舎が完成



「交通安全」を宣言

富士第1地区の第3回交通安全市民大会が、3月9日行われました。この日、県警音楽隊や幼稚園のチビッ子たちの鼓笛隊を先頭に呼びもの市中パレードが予定されていましたが、あいにくの雨で中止、会場を富士第1小学校体育館にうつし、約500人の親と子が、カラフルな風船を手にしながら「交通安全」を訴え最後に大会宣言が決議されました。

緑と花の百科展

- ・とき 4月13日(日) 8:00~16:00
- ・ところ 市役所北側駐車場
- ・植木市 庭木、草花、盆栽、観葉植物など約3万点が展示されます。
値段は1,000円前後が主で、このほか鉢、肥料、農薬なども即売します。
- ・緑と花の相談所開設
庭木、草花の植え方、育て方、花だんのつくり方、病虫害の防除のしかたなど、緑と花のことならなんでも相談を受けます。
- ・生けがきづくりの相談所を特設
防災対策と緑ゆたかな、まちづくりをすすめるために、生けがきづくりをする人たちへ最高3万円までの補助金を出しています。生けがきづくりや庭づくりをする人は、図面を持ってきてください。
- ・問合せは 市みどりの課 内線 333

富士駅前に 無料自転車駐車場

自転車専用の無料駐車場が、富士駅前東側の自動車駐車場の一部にできます。

この自転車駐車場は、今までの自動車駐車場の一部を改造、鉄骨造二階建屋根付で約400台がとめられ、ショッピングや自転車通勤、通学者のみなさんに利用していただきます。

利用できるのは4月のはじめごろです。

この自転車駐車場が利用できるようになると、富士駅

北周辺に無断で放置してある自転車は、路上放置物とみなされて、処理されることとなりますので、ご注意ください。

利用される人は、次のことを守ってください。

- ・自転車の利用に限ること(バイク、軽二輪は駐車できません。)
- ・据え付けの器具を必ず使用する。
- ・昇降スロープは乗車したままで昇降しない。
- ・盗難防止のため必ず施錠をする。
- ・長期間駐車(7日以上連続して)しない。
- ・自転車には住所、氏名を記入しましょう。

はしかの予防接種料金が改定

4月1日から麻疹(はしか)予防接種料金は、4,500円に改定されます。

従って、すでに接種通知をしてある人で、4月1日以降接種される人は、4,500円を医療機関に支払ってください。

なお、医療機関に支払った料金4,500円は、今まで通り全額市で負担します。

この場合、補助金申請書金額4,000円を4,500円に訂正して、訂正箇所には保護者の印鑑を押してください。

保健衛生課 内線 321

(4月1日から環境部健康課になります)

消防庁長官表彰を受賞

このほど、市内荒田島5の1高田貞男さん、同桑崎620佐藤清吾さんは、消防団員として最高のほまれといわれている消防庁長官表彰の「永年勤続功労章」を受賞されました。

胃ガン・子宮ガンの検診

成人病疾病による死亡率は、年々増加の傾向にあり、特に、ガン(悪性新生物)による死亡者数は、他の疾病をしのぎ第1位を占めようとしています。

こうした中で、市はその予防対策の一環として、毎年健康診断を実施していますが、今年も4月1日から引き続き胃ガン及び子宮ガン検診を行います。

胃ガン検診については、例年同様検診車で各地域を巡回して実施します。

また、子宮ガン検診は、希望する市内各産婦人科病医院に受診者が直接申込んで、検診してください。

ガンは自らが進んで検診されることが予防の第1です。

◇胃ガン検診

- ・受診対象者 市内居住者
- ・受診申込み 各町内会長にご協力を頂き希望者を募る。
- ・申込み期日 4月10日
- ・個人負担金 800円(当日検診会場にて徴収)
- ・受診日時と場所 申込み者には後日ハガキで連絡

◇子宮ガン検診

- ・受診対象者 市内居住の30歳以上の女子
- ・実施期間 年間、休・祭日を除いた日
(4月1日~56年3月31日)
- ・検診の時持参するもの 保険証
- ・個人負担金 800円
- ・検診病医院 市内各産婦人科病医院

4月7日から 庁舎周辺が交通規制されます

昭和46年から始まった岳南広域都市計画事業の市庁舎周辺（依田原新田土地区画整理事業）は、すでに全工事の80%がすすみ、順次、幹線都市計画道路の供用開始を行っています。

今回は、東名富士インターから田子の浦港を結ぶ「田子浦臨港線」が完成、4月7日から開通します。

このため、市庁舎周辺の「田子浦臨港線」と、「臨港富士線」、「田子浦伝法線」などの道路が4月7日から次のとおり交通規制されます。

なお、市庁舎前バス停のバス路線も4月7日から次のとおり変更しますのでご協力をお願いします。

富士市庁舎周辺（依田原新田内）交通規制図

